高森町の名産品の考案
～地域活性化をめざして～

熊本県立高森高等学校１・２年
南郷谷役場高森高校支所（総務局）

趣旨

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、自己・地域・社会に関する様々な課題を発見し解決していくための資質・能力の育成を目指しています。高森高校では、総合的な探究の時間を中心に、地域行政の組織を理解し地域活性化のための課題を発見し解決するための活動を行っています。令和４年度からは探究活動を３年間継続できるよう形態を変更し、学年の垣根を越えて活動に取り組んでいます。

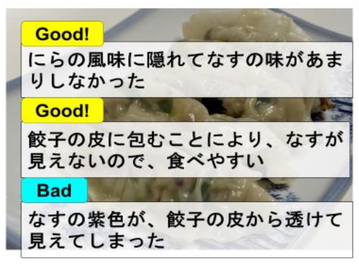
総務局では、高森町の名物商品を開発しようと、高森観光推進機構様や町の企業（お店）と連携しながら、高森を象徴する食品作りをしています。高森町の名物や特産品、代表するお土産がないと感じており、地元食材を使用したお菓子を開発し、地元のお店とコラボをすることで、高森町や高森高校の知名度アップ、地域の活性化にもつながると考え、高校生の視点から地域貢献をめざしています。

R４年度の活動

①新しい克服レシピ
（なす）の考案
②動画作成
③ホームページ作成

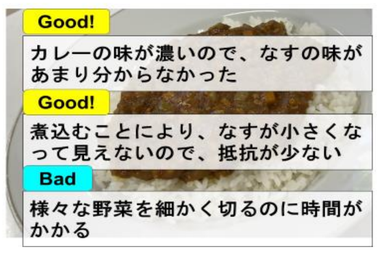
なす餃子

味	◎
手間	○
費用	○
見た目	△



げんきもりもりなすかれー

味	◎
手間	○
費用	○
見た目	◎



ホームページの更新

①レシピ考案
重視した点

考案したなすびの料理４観点評価
※◎ …大変良い　○…良い　△…改善が必要

	なすかれー	ナス餃子
味	◎	◎
手間	○	○
費用	○	○
見た目	◎	△

③ホームページ作成

R５年度の活動

①阿蘇ロックフェスティバルで
高菜バーガーの販売
（グリルド加藤さんとコラボ）

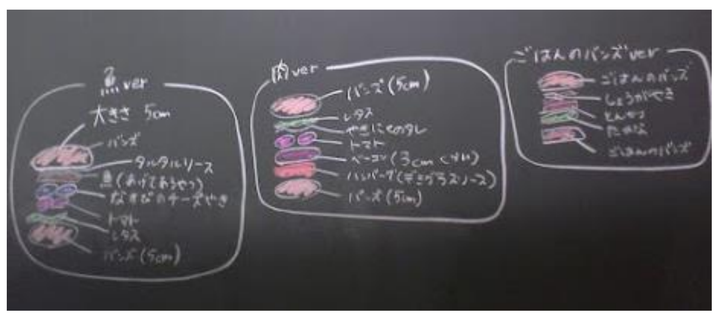
②高森駅の駅弁考案

③米粉を使用したクッキー考案

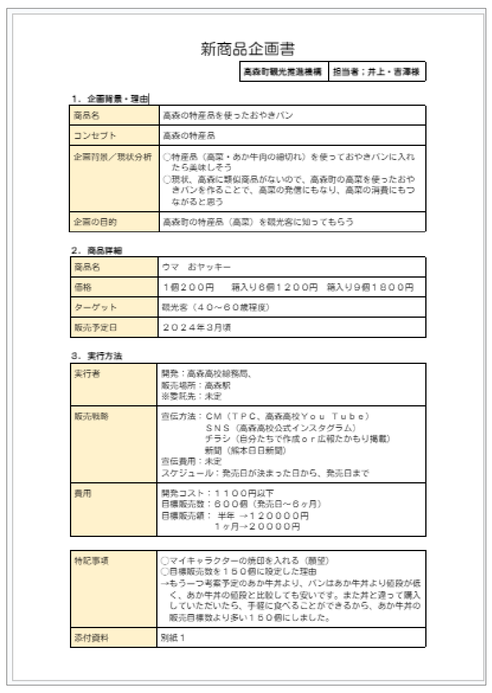
④お菓子の香梅さんとコラボした
お土産の考案

⑤高森名物となるスイーツの考案

グリルド加藤さんとコラボした高菜バーガー



駅弁の企画書



新商品企画書

高森町観光推進機構	担当者：井上・吉澤裕

１．企画背景・理由

商品名	高森の特産品を使ったおやきパン
コンセプト	高森の特産品
企画背景／現状分析	○特産品（高菜・あか牛肉の細切れ）を使っておやきパンに入れたら美味しそう ○現状、高森に類似商品がないので、高森町の高菜を使ったおやきパンを作ることで、高菜の発信にもなり、高菜の消費にもつながると思う
企画の目的	高森町の特産品（高菜）を観光客に知ってもらう

２．商品詳細

商品名	ウマ　おヤッキー
価格	１個２００円　箱入り６個１２００円　箱入り９個１８００円
ターゲット	観光客（４０～６０歳程度）
販売予定日	２０２４年３月頃

３．実行方法

実行者	開発：高森高校総務局、 販売場所：高森駅 ※委託先：未定
販売戦略	宣伝方法：ＣＭ（ＴＰＣ、高森高校Ｙｏｕ Ｔｕｂｅ） ＳＮＳ（高森高校公式インスタグラム） チラシ（自分たちで作成ｏｒ広報たかもり掲載） 新聞（熊本日日新聞） 宣伝費用：未定 スケジュール：発売日が決まった日から、発売日まで
費用	開発コスト：１１００円以下 目標販売数：６００個（発売日～８ヶ月） 目標販売額：半年 →１２００００円 １ヶ月→２００００円

特記事項	○マイキャラクターの絵図を入れる（願望） ○目標販売数を１５０個に設定した理由 →もう一つ考案予定のあか牛丼より、パンはあか牛丼より値段が低く、あか牛丼の値段と比較しても安いです。また丼と違って購入していただいたら、手軽に食べることができるから、あか牛丼の販売目標数より多い１５０個にしました。
添付資料	別紙１

米粉クッキーの試作

取組の結果・今後の展望

高菜バーガーは、阿蘇ロックフェスティバルでも大盛況でした。
１２月２３日（土）開催のKSH発表会「県立高校　学びの祭典」でも販売します。

各班、企業や地元のお店とのコラボをして地域活性・貢献につなげようと考えています。今年度からマンガ学科が開設され、県内の様々な場所や、他県の生徒もいることから、まずは高森町や阿蘇、そして熊本について調べる活動をしています。

地域のことを知ったうえで、高校生の視点から地域貢献できるよう、また、長く愛されるような商品を開発できるように、試行錯誤していきたいです！

協力機関・掲載先等

お菓子の香梅
https://kobai.jp/

グリルド加藤
https://restaurant-44764.business.site/

高森観光推進機構
https://asotakamori-kanko.com/